

回復期リハビリテーション病棟 ご案内

新しい一歩に向けて・・・



SHOTOKUKAI
医療法人 松徳会

花の丘病院

■回復期リハビリテーション病棟とは？

リハビリテーションを専門とし、主に脳血管障害や骨折などの疾患により機能練習を必要とする患者さまを対象として、在宅・社会復帰を目的に、医師・看護師・介護士・リハビリテーションスタッフ（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）等が協同し、集中的なリハビリテーションを提供する病棟です。



■回復期リハビリテーション病棟の特徴

- 365日（1日2～3時間）、個別リハビリテーションを提供します。
- 患者さまを中心としたチーム医療を実践し、日常生活動作の再獲得を目指します。
- 患者さまが主体的に取り組めるよう、一人ひとりに応じたリハビリテーション計画を立案・実践します。
- 機能練習に適したトイレ・廊下・浴室を備えています。



■入院の対象となる方は？

対象疾患

脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態、又は義肢装着訓練を要する状態

高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷

大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態

外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態

大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態

股関節又は膝関節の置換術後の状態

■入院から退院までの流れ



- 入院期間やリハビリテーションの目標は、対象疾患等患者さまによって異なります。 詳細は、リハビリテーション実施計画書を用いて説明させていただきます。
- 安心して退院後の生活が送れるように支援します。 自宅退院をされる患者さまには必要に応じて入院中に家屋訪問を行い、生活環境調整の提案をさせていただきます。

リハビリチームと患者さまご家族さまが一丸となって、一日も早い回復を目指します。

■理学療法（PT）

運動療法・物理療法・日常生活動作練習により、基本的動作能力（起き上がる・座る・立つ・歩くなど）の獲得を目指します。

■作業療法（OT）

日常生活の諸動作（食事・着替え、排泄、入浴など）、仕事・家事など生活全般に関連した動作の獲得を目指します。

■言語聴覚療法（ST）

言語障害や聴覚障害、食べることの障害（摂食・嚥下障害）のある方に対して、実用的なコミュニケーション能力の向上を目指します。



■関節可動域運動

■関節可動域運動

硬くなった関節を緩めたり、関節が硬くなつて動き難くならないように充分に屈曲伸展を繰り返すことで、徐々に関節が動く範囲が広がるように運動します。関節の痛みを和らげて、痛くない範囲でゆっくりと行います。

■筋力増強運動

手術等により生じた筋力低下に対して、低下した筋力を強くしたり維持するための運動です。患者さまの状態（全身状態、疾病の治癒の程度、年齢、性別など）を考慮して実施します。



■歩行練習(懸垂装置)

■歩行練習

骨折や術後は関節に負担がかからないように、徐々に体重をかけながら歩く練習を行います。また、脳血管疾患による後遺症の程度により、新しい歩行方法の獲得を目指します。歩行器や手すり、杖、装具などを利用して少しずつ歩ける範囲を広げていきます。



■ADL(日常生活動作)練習
:更衣練習

■VF（嚥下造影）検査

食べ物が気管に入つてないか（誤嚥、食物残留等）、安全に飲み込みが出来るか（摂取方法）、飲み込みの様子をレントゲンの透視検査を利用して、外からでは判断できない飲み込みの問題を検査します。検査結果をもとに改善に向けた効果的なリハビリテーションを行います。

■ADL（日常生活動作）練習

在宅復帰へ向けて、個々に合わせたADL（日常生活動作）練習を取り入れ、家族さまに向けて適切な介助方法を学んでいただきます。必要な患者さまには、退院前にご自宅へ訪問して住宅改修のアドバイスを行い、住みやすい環境づくりを目指します。



■自主トレーニング指導



■外出支援

当院の回復期リハビリテーションでは、患者さま一人ひとりの状態に合わせたリハビリテーションを行います。

障害の軽重を問わず、患者さまにとって最も良いと思われるケアや運動を通じ、日常生活動作の再獲得を目指してスタッフ一同誠心誠意励んでいきます。

そして、何より回復の喜びを患者さまやご家族さまと共に分かちあえることを一番の励みとして日々頑張って参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

■退院後もサポートいたします

患者さまらしさを第一に、退院後の生活をイメージし必要なサービスを提案します。ご家族さまやケアマネージャーとも相談し、医療保険や介護保険のサービスも含め、退院後も在宅生活を支援させていただきます。

■回復期リハビリテーション病棟の概要

開設／平成19年6月1日

病床数／45床

施設基準／回復期リハビリテーション病棟入院料 1

脳血管疾患等リハビリテーション料（I） 運動器リハビリテーション料（I） 廃用リハビリテーション料（I）



■アクセスマップ

